

中小企業景況調査(2015年7月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、マイナス
売上げ見通しDIは、14カ月連続でプラス

1 売上げ

2015年7月の売上げDIは、前月(1.3)から低下し、▲0.7となった。

今後3カ月(7月~9月)の売上げ見通しDIは、前月(6.4)から低下し、1.5となった。プラスは14カ月連続である。

2 利益

利益額DIは、前月(3.7)から低下し、0.6となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(1.3)から低下し、▲0.7となった。マイナスとなるのは9カ月ぶりである。

仕入価格DIは、前月(20.1)から低下し、10.9となった。

従業員判断DIは、前月(10.2)から低下し、1.4となった。

生産設備判断DIは、前月(▲8.9)から低下し、▲10.4となった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

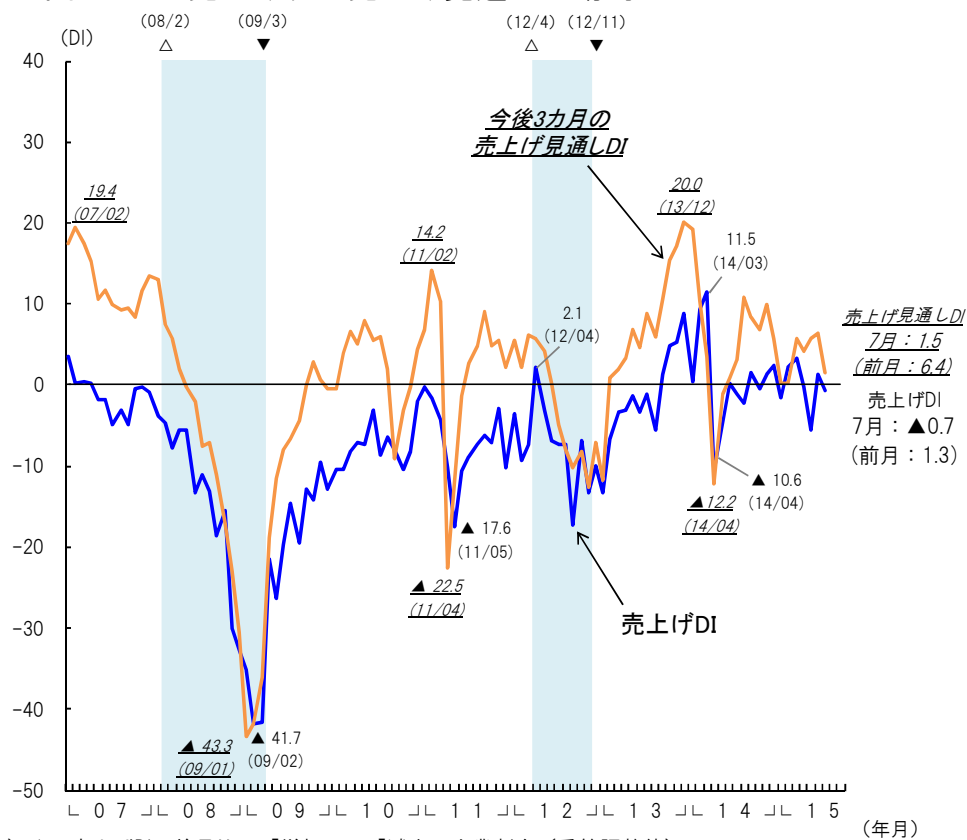
＜調査の要領＞	調査時点	2015年7月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏454社、中京圏142社、近畿圏304社)
	有効回答企業数	587社
	回答率	65.2%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

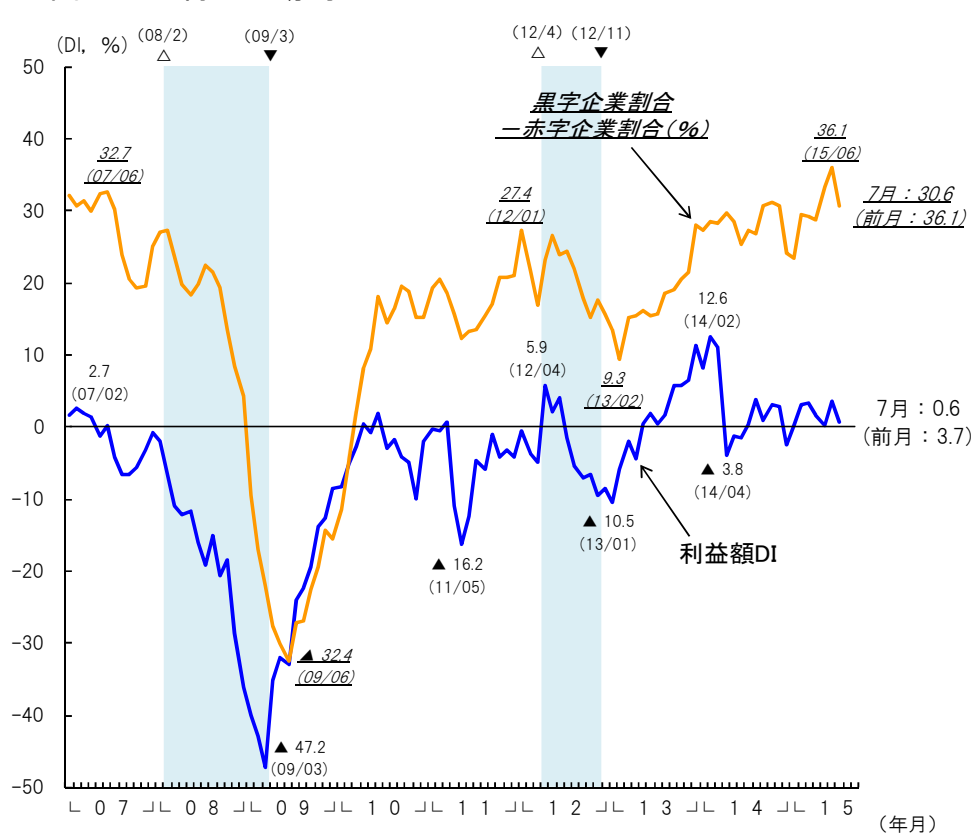
- 売上増DI(「増加」-「減少」)は、▲0.7と、前月から2.0ポイント低下した。
- 売上増見通しDI(「増加」-「減少」)は、1.5と、前月から4.9ポイント低下した。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、0.6と、前月から3.1ポイント低下した。
- 黒字企業割合-赤字企業割合は、30.6と、前月から5.5ポイント低下した。

図-1 売上増及び売上増見通しの動向



- (注) 1 売上増DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上増見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

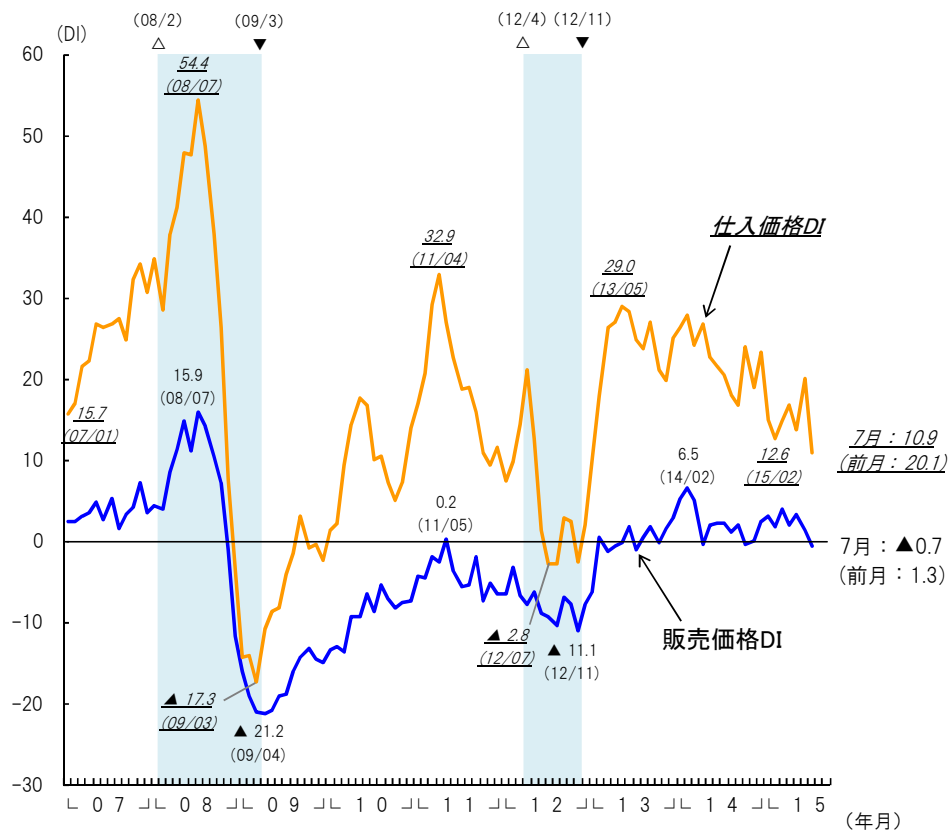
図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

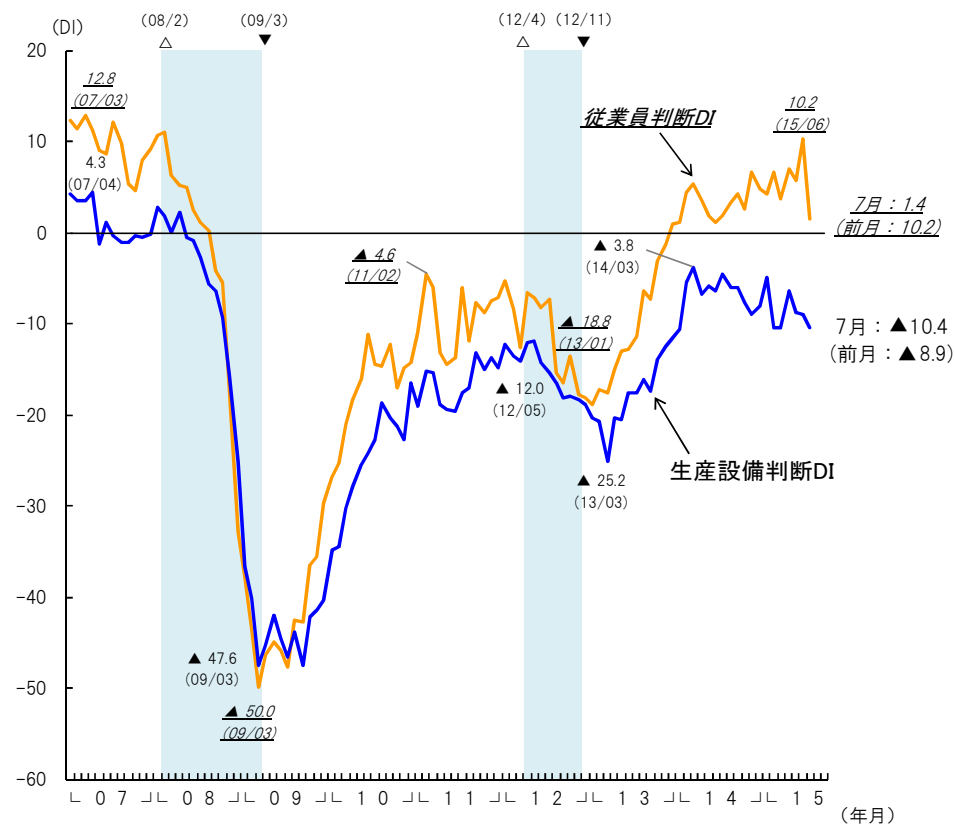
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲0.7と、前月から2.0ポイント低下した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、10.9と、前月から9.2ポイント低下した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、1.4と、前月から8.8ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲10.4と、前月から1.5ポイント低下した。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

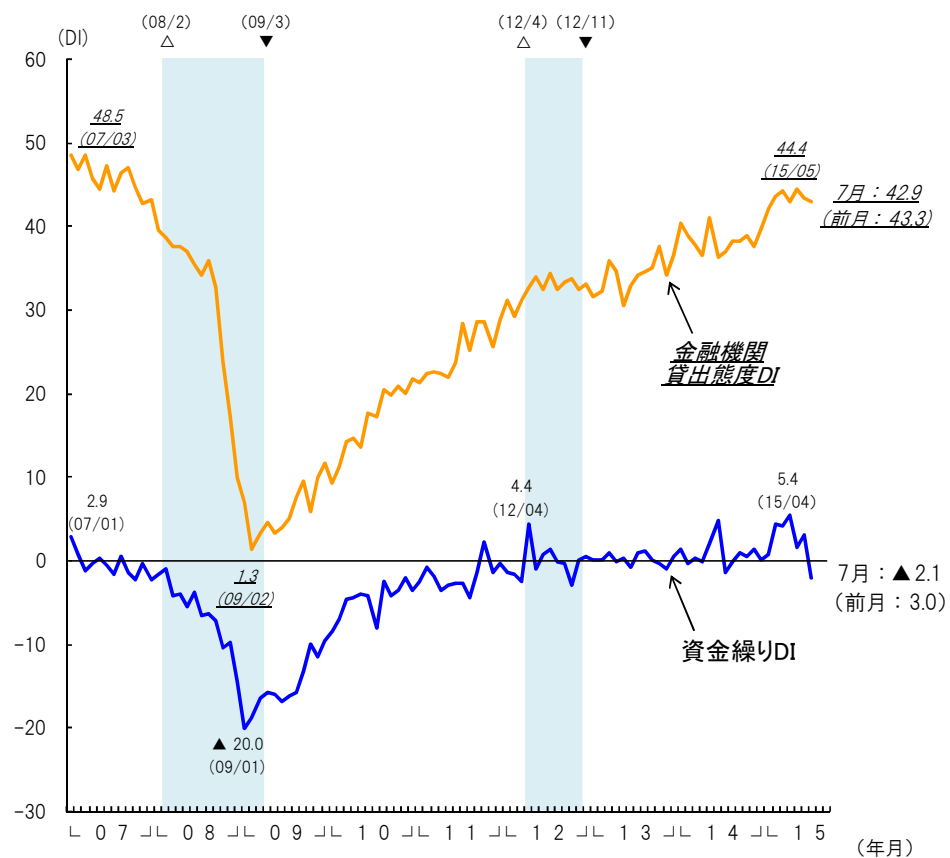


(注) 1 製造業の数値。
2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、▲2.1と、前月から5.1ポイント低下した。

○金融機関貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、42.9と、前月から0.4ポイント低下した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。
2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。